

私たちは、昨年海外から滋賀に移住しましたが、子どもの個性を伸ばせる多羅尾小学校に通わせようと思い、移住先を信楽に決めました。

見学の時に、一番印象的だったのは、先生・児童の目が生き生きしていたことです。全員で娘を家族のように歓迎してくださり、勉強も苦手なことは先生が時間をかけて教えてくださるので、娘も楽しく学校へ通っています。

勉強以外でも、多羅尾小学校はそれぞれが自然にお互いの個性や違いを受け入れている、自分の意見をしっかりと持っている等、これからの人生で大切なことをたくさん学んでいます。娘は気になったことや興味のあることは何でも質問したりもっと知りたい！という性格なので、多羅尾小に通わせてよかったと思っています。

特認校制度で甲賀市在住なら通えるので、ぜひ見学に来てください。
(1年生保護者)

せっかく信楽町に住んでいるのだから、都会のような育児ではなく、自然や地域の特色を味わいながらの生活がしたいなあとずっと考えていました。

特に、タブレットによる教育やユーチューブ、多彩なゲームなど、周りを見渡せば簡単にどんな情報でも手に入ってしまう現代の在り方は良い点もある反面、デメリットや不安が尽きないと感じます。せめて子ども本人が自分の必要なものを自分の力で選べるようになるまで、親である私にできることは何だろうと悩んでいた時に、多羅尾小学校の存在を知り、これだ！と強く思いました。

娘は今年2年生になり、親の予想以上にたくましく成長しています。愛情たっぷりの先生方ややさしさあふれた児童8名とともに、鳥や虫を追いかけ、勉学に励み、体を動かすことが大好きになりました。毎日の生活がとても楽しそうで、親もいっしょに成長させていただいていると感謝でいっぱいです。(2年生保護者)

多羅尾小学校に通いだしてあっという間に4年が経ちました。

娘が保育園の年長さんの時に多羅尾小学校に見学に行き、娘はすぐにこの学校が気に入って、それとオペレッタをやってみようという気持ちが強かったため、この学校がいい！と喜んでこの学校に入学しました。

入学してから4年経ちますが、毎日学校に行くことを嫌がることもなく、学校での出来事や通学中のバスやコミタクの運転手さんたちと話したことなど、自分から話してくれます。学校の先生やお友だちと家族のようで、それにバスやコミタクの運転手の方たちとも仲が良いのが田舎ならではの温かいところだなあと感じます。

そして、学校の授業では、人数が少ない分、先生が一人一人をしっかりみてあげることができるので、ちゃんと理解しているのが嬉しいです。保護者同士も仲良くアットホームな話し合いができて、それも私にとってとても嬉しいことです。この学校を選んでよかったと思えます。

新1年生の子や、今の学校になじめなくて登校することが辛い子たちの選択肢の一つになったらいいなと心から思っています。
(4年生保護者)

姉妹が多羅尾小学校に通っています。よく、登下校が大変じゃないの？と尋ねられるのですが、多羅尾にはバスが通っているので、冬でも安心です。バスを利用して登下校する子どもも多く、バスの中はいつも賑やか。うちは、行きはバス、帰りはバスとコミタクを乗り継いで徒歩で帰宅しています。バスの運転手さんもコミタクの運転手さんも、優しく接してくださり、子どもたちのことをよく知ってくれているので安心して通わせることができます。

上の子は今年で卒業になりますが、振り返ると楽しい思い出ばかり。温かい環境の中で小学校生活を過ごすことができ、親としてもこの学校を選んで本当によかったと思います。
(2年生・6年生保護者)

子どもが1年生の2学期の終わり頃、「多羅尾小学校で友だちといっしょにオペレッタをやりたい」の一言で転校を思いきりました。最終年の6年生となり、配役・セリフ等、先生を交え児童全員で相談して作りあげていくことを楽しんでいるようです。

また、コロナ以降昨年からは復活した地域体育大会に参加し、かけっこ・借り物競争・玉入れ等、多羅尾地区にこんなに多くの若い人たちがいたのかと驚くとともに、応援の歓声、笑い声等、楽しい思い出として子ども心に刻まれたと思います。

さて転校に際しては、当時の私と同じように悩まれると思いますが、小学生としての6年間は、子ども一人一人が歩む将来の高い山(夢)を目指すための基礎作りと考えます。基礎となる素材が弱いと子ども自身から感じ取られたら、もう少し強いと思われる素材への転換(配置)をすればよいと気楽に考えればよいのです。

大事なことは子どもの意思です。無責任のようですが、結果は誰にも分かりません。転校で悩んでおられる方がおられましたら、一度見学に来られることをお勧めします。児童・地域・先生が一体となった教育の場を体感してください。
(6年生保護者)

6年間、多羅尾小学校に通わせて思う3つのこと。

- ①親も子も、先生との距離が近いこと。
人数が少ない分、本当によくみていただきました。子どもにとって「注目」とは違う「見守り」というまなざしは、安心感になっていたのでは、と思います。我が子は小学校に育てられた！と心から思っています。
- ②保護者同士の距離が近いこと。
少人数を希望される親の集まりなので、不思議な調和があります。学校行事や親子活動は多いですが、いつもどれも楽しく盛りあがります！
- ③つながりのある学校だということ。

山の上の学校で、冬の寒さはこたえませんが、四季が豊かであり、とても静かです。多羅尾小に通わせてくれて、信楽から通っていた仕事場の多羅尾に住居を移しました。オペレッタを通しての成長は、感動的です！地域の方々との交流には温かさを感じます。地域からの応援や支えという繋がりをもち、生き生きとした元気な小学校だと思います。
(6年生保護者)